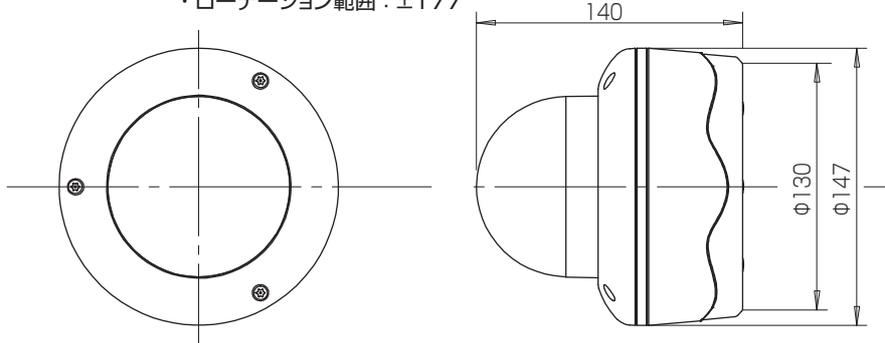


機種名 VN-H228VPR

表記なき単位=mm

寸法図

- ・パンの可動範囲：+164°～-190°
- ・チルトの可動範囲：0°～80°（底面に対し垂直となる方向が0°）
- ・ローテーション範囲：±177°



規格

本機質量	約1.3kg
------	--------

施工例1

施工手順

1. スクリューアンカー(付属していない)を使用して取り付ける場合
 - 1) テンプレート(付属)を使用し、スクリューアンカーに対応した穴を4箇所あけ、スクリューアンカー4個を挿入する。
 - 2) 必要に応じて、ケーブル通線孔をテンプレート(付属)を使用し、あける。

使用材料

取付方法	天井/壁付け
取付ねじ	M4×長さ10mm以上 φ4.1mm×長さ30mm以上 (付属してない)
使用数	4本

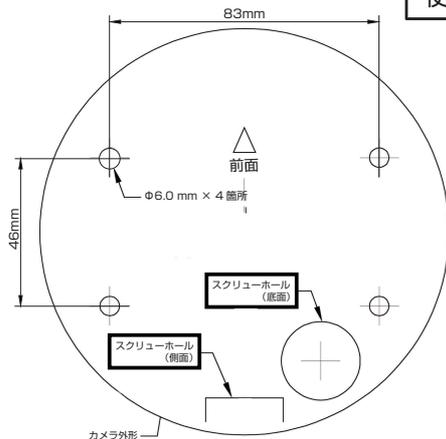
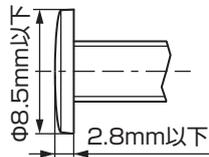


図1 壁面直付け施工寸法図

取付けねじのねじ頭寸法は、φ8.5mm以下、座面からの高さ2.8mm以下のこと。



施工例2

施工手順

1. ロックアームで埋め込む場合(屋内のみ)
 - 1) 天井穴は埋め込み用の付属のテンプレートを使用(GUIDE PTATTERN) CUT LINEφ128mmであけること。
 - 2) 黒色のねじを時計回りに回してロックアームを広げ、設置位置に合わせて、ねじを十分に締めるとロックアームが締め固定される。

【注意】埋め込み状態では、IP66ではありません。屋内のみの使用になります。

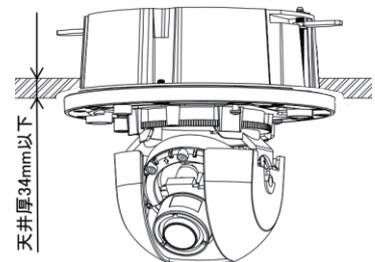


図2 天井埋め込み施工図

注意事項

1. 壁面強度は本機の総質量の10倍以上の強度を確保出来ること。強度が取れない場合は必ず補強を施し、強度を確保すること。
2. ケーブル類はスクリューホール(底面または側面)から引き出すこと。ケーブルの引き出しに使用するスクリューホールには配管(M25)などを使用すること。ケーブルの引き出しに使用しないスクリューホール(底面または側面)は、スクリューホールプラグ(付属)で適切にふさぐこと。
3. スクリューホールとねじを取り付けた穴に防水処理を施すこと(GEシリコン)。スクリューホールとねじ取付穴は完全にふさぐこと。カメラ(ボトムケース)と設置面外周に防水処理を施すこと。
4. ケーブル類接続部分は、絶縁テープにて絶縁処理を行うとともに、防水処理を確実に施すこと。ケーブルを伝って雨水が入らないよう施工すること。
5. 落下防止ワイヤー(付属していない)は一方を壁や天井に、もう一方をカメラ本体の落下防止ワイヤー取付部に接続すること。(図3)
落下を防止するため、本機の質量に耐えられる十分な強度のある落下防止ワイヤーで天井スラブなど、しっかりした場所に取り付けること。落下防止ワイヤーは天井構造物と絶縁できるように接続すること。
6. ねじはM4またはφ4.1mmでねじ頭の寸法がφ8.5mm以下、座面からの高さ2.8mm以下のものを使用すること。座金組込みねじ、平座金、ばね座金は使用しないこと。
7. 屋外(軒下含)設置の場合は、ステンレスねじ(付属していない)を使用すること。
ステンレスねじ仕様：M4×長さ10mm以上またはφ4.1mm×長さ30mm以上
8. カメラ本体は、本書および取扱説明書に定める設置工事が正しく施工され、かつ適切な防水処理が施工された場合のみ、防水(IP66相当)性能が維持できる。

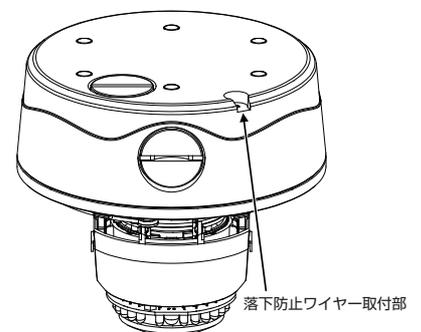
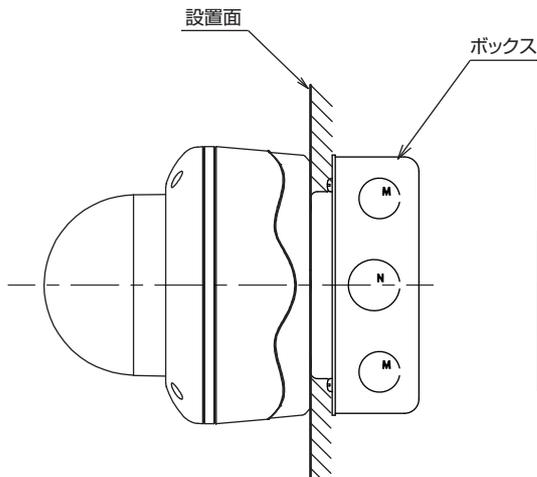


図3 落下防止ワイヤー(取付ねじを图示していません)

機種名 VN-H228VPR

表記なき単位=mm

施工例3



使用材料

取付方法	ボックス(付属していない)
取付ねじ	M4×長さ10mm以上 (付属していない)
使用数	4本

取付けねじのねじ頭寸法は、Φ8.5mm以下、座面からの高さ2.8mm以下のこと。

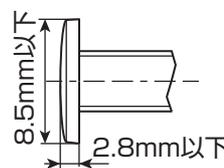


図4 ボックス施工例

施工手順

- ボックス(付属していない)を使用して取り付ける場合
 - カメラを分解(取扱説明書参照)し、ボトムケースのみの状態にする。
 - ねじ(付属していない)4本でボトムケースをボックス(付属していない)に取り付ける。
推奨締め付けトルク：0.78 N・m(8 kgf・cm)
 - ボックスの外形寸法で壁や天井に孔を開けた場合は、ボックスが見えないよう施工する。
また屋外(軒下含)設置の場合は、確実に防水処理を施すこと。

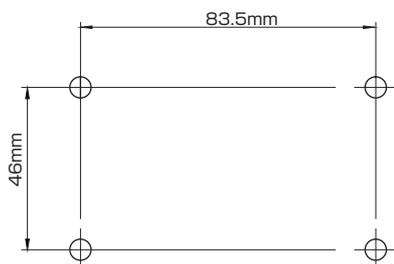


図5 ボックスのカメラ取付部寸法

注意事項

- 壁面強度は本機の総質量の10倍以上の強度を確保出来ること。強度が取れない場合は必ず補強を施し、強度を確保すること。
- ケーブル類はスクリューホール(底面または側面)から引き出すこと。ケーブルの引き出しに使用するスクリューホールには配管(M25)などを使用すること。ケーブルの引き出しに使用しないスクリューホール(底面または側面)は、スクリューホールプラグ(付属)で適切にふさぐこと。
- スクリューホールとねじを取り付けた穴に防水処理を施すこと(GEシリコン)。スクリューホールとねじ取付穴は完全にふさぐこと。ボックス取り付けねじからの雨水などの浸入を防ぐために、カメラ(ボトムケース)と設置面外周に防水処理を施すこと。
- ケーブル類接続部分は、絶縁テープにて絶縁処理を行うとともに、防水処理を確実に施すこと。ケーブルを伝って雨水が入らないよう施工すること。
- 落下防止ワイヤー(付属していない)は一方を壁や天井に、もう一方をカメラ本体の落下防止ワイヤー取付部に接続すること。(図3)
落下を防止するため、本機の質量に耐えられる十分な強度のある落下防止ワイヤーで天井スラブなど、しっかりした場所に取り付けること。落下防止ワイヤーは天井構造物と絶縁できるように接続すること。
- ねじはM4でねじ頭の寸法がΦ8.5mm以下、座面からの高さ2.8mm以下のものを使用すること。
座金組込みねじ、平座金、ばね座金は使用しないこと。
- 屋外(軒下含)設置の場合は、ステンレスねじ(付属していない)を使用すること。
ステンレスねじ仕様：M4×長さ10mm以上
- カメラ本体は、本書および取扱説明書に定める設置工事が正しく施工され、かつ適切な防水処理が施工された場合にのみ、防水(IP66相当)性能が維持できる。